

科目名	看護理論		時期		時間	単位
担当教員	看護師として5年以上の実務経験を有する専任教員		1年次	後期	30時間	1単位
科目設定理由	看護の歴史と看護理論の発展過程を概観するとともに、看護実践の基盤であり枠組みである看護理論について学ぶ。また、各看護理論の特徴や限界について学ぶ。看護理論や中範囲理論を看護実践に応用することや看護現象を看護理論などにより分析・解釈して看護に活かすことにより看護理論が看護実践や研究に果たす役割を理解する。そして、看護実践の基盤としての「看護とは」について考え、より普遍的で人間性豊かな自らの看護観を育てることを目的に当該科目を設定した。					
学習目標	1 看護実践に必要な主な理論を理解する 2 F. ナイチンゲールおよびV. ヘンダーソンの看護理論の概要と特徴を説明できる 3 各看護理論の特徴を学ぶ					
授 業 計 画						
回数	項目	内 容				備 考
1	看護理論とは	1 看護理論とは何か 2 看護理論の分類 3 看護理論の変遷 4 看護理論が看護実践と研究に果たす役割				講義
2～5	F. ナイチンゲール	1 理論の概要とその特徴 2 看護覚え書きの読解				講義・演習
6～9	V. ヘンダーソン	1 理論の概要とその特徴 2 看護の基本となるものの読解				講義・演習
10～13	看護理論家	1 理論家の背景・理論の源泉となったもの、主要概念・実践への適応等 (1) ヒルデガード・E・ペプロウ (2) ドロセア・E・オレム (3) シスター・カリスタ・ロイ (4) パトリシア・ベナー				講義
14	中範囲理論	1 中範囲理論とは 2 看護における中範囲理論とは 3 病みの軌跡モデル・危機理論・ストレス・コーピング理論・病気の不確かさ理論				講義
15	試験					
使用テキスト	看護覚え書 本当の看護とそうでない看護 新装版	F. ナイチンゲール 小玉 香津子 尾田 葉子 訳		日本看護協会出版会		
	看護の基本となるもの 再新装版	V. ヘンダーソン 湯楨 ます 尾田葉子 訳		日本看護協会出版会		
	ケースを通してやさしく学ぶ看護理論	黒田 裕子		日総研出版		
	系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[1] 看護学概論	茂野 香おる 他		医学書院		
	看護実践に活かす中範囲理論 第3版	野川道子 他		メヂカルフレンド社		
参考図書・資料等						
評価方法	筆記試験、課題レポート、演習、出席状況などから総合的に判断する					